

平成19年度

決算に係る主要施策の成果説明書

参考資料

新発田市

----- 目 次 -----

1	一般会計	
	国体推進部 .....	1
	議会事務局 .....	1
	企画政策部 .....	2
	総務部 .....	4
	選挙管理委員会事務局 .....	6
	市民生活部 .....	6
	健康福祉部 .....	10
	産業振興部 .....	21
	農業委員会事務局 .....	29
	地域整備部 .....	29
	上下水道部 .....	33
	教育部 .....	33
2	土地取得事業特別会計 .....	40
3	公共用地先行取得事業特別会計 .....	40
4	国民健康保険事業特別会計 .....	40
5	老人保健事業特別会計 .....	43
6	介護保険事業特別会計 .....	44
7	簡易水道事業特別会計 .....	47
8	農業集落排水事業特別会計 .....	48
9	下水道事業特別会計 .....	49
10	宅地造成事業特別会計 .....	51
11	西部工業団地造成事業特別会計 .....	52
12	駐車場事業特別会計 .....	52
13	コミュニティバス事業特別会計 .....	52
14	藤塚浜財産区特別会計 .....	53
15	水道事業会計 .....	54

# 1 一般会計

国体推進部 国体推進室 事務事業名の後のページ数は決算書のページ数 (単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	生涯スポーツ・レクリエーション環境の整備 ジュニア競技スポーツクラブ育成事業(P263)	1,700	平成 21 年開催予定の 2 巡目トキめき新潟国体に向けた競技力強化事業として、ラグビー・サッカー・卓球・ゴルフ・バレーボールのジュニア層の選手強化、育成に取り組んだ。
	トキめき新潟国体新発田市実行委員会参画事業(P263)	5,000	トキめき新潟国体新発田市実行委員会に対する負担金。本市の開催基本計画に基づき、総合的な計画の立案と施策の推進を図った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 2 回総会の開催</li> <li>・ 第 2 回常任委員会の開催</li> <li>・ 総務広報部会の開催 (3 回開催)</li> <li>・ 警備交通部会の開催 (3 回開催)</li> <li>・ 宿泊衛生部会の開催 (3 回開催)</li> <li>・ 競技式典部会の開催 (3 回開催)</li> <li>・ 先催県への視察</li> <li>・ 各種イベントにおける広報啓発活動</li> </ul>

## 議会事務局

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
議会費	効率的・効果的な行政運営 政務調査事業(P67)	7,161	会派及び議員個人の調査研究活動に資するために必要な経費の一部として、政務調査費を交付した。 会派 1人当たり 96千円 個人 144千円
	議会報発行事業(P67)	3,489	市民に議会活動の状況をわかりやすく広報し、議会活動に対する理解と関心を高め、市民の声を議会活動に反映させるため、議会だよりを発行した。 年 4 回 35,500 部 定例会の翌月末発行 配布先・・・各戸及び関係団体

企画政策部 企画政策課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	成果を重視した自治体経営の確立 行政評価研修事業(P85)	2,100	<p>行政評価システムの精度向上を図るため「まちづくり総合計画中期基本計画」に基づいた施策評価研修を実施した。</p> <p>事務事業目的評価表作成担当者のうち、研修未履修者対象に事務事業評価研修を行った。</p> <p>さらに、新行政推進リーダーや係長クラスの職員を対象に行政評価システムを活用し改革改善活動を一層推進するため、事務事業評価結果の活用と行政評価全体像の理解推進を図り事務事業評価・施策評価研修を実施した。</p> <p>また、市長、両副市長、教育長、全部長を対象に「行政評価」「行政改革」及び「まちづくり」等に関する情報交換形式で行政経営研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策評価研修 58名</li> <li>・事務事業評価研修 29名</li> <li>・事務事業評価・施策評価研修 136名</li> <li>・行政経営研修 15名</li> </ul>
	効率的・効果的な行政運営 食のまちづくり推進計画策定事業(P85)	2,608	<p>食のまちづくりを推進するため、公募市民等による検討委員会を設置し、食のまちづくりの考え方や具体的な取組みについて検討を行い、その結果を「新発田市食のまちづくり提言書」としてまとめた。</p> <p>食のまちづくりを普及、啓発するため、関係団体や関係課等との連携のもと、「食のまちづくり・しばたリレートーク」を6回シリーズで開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食のまちづくり検討委員会を8回開催 委員数23名 平成20年1月市長に提言書を提出</li> <li>・リレートーク6回開催 参加者数延べ2,600名</li> </ul>

企画政策部 市民まちづくり支援課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	市民参画と協働の推進 公会堂等建築支援事業(P85)	12,223	下楠川自治会ほか14団体に公会堂の下水道接続、増改築等、工事費の一部を助成した。

	国際交流・都市間交流の推進 国際交流推進事業(P89)	3,618	大韓民国全谷邑との交流で相互訪問事業を実施した。 全谷邑訪問団 30 名来市 新発田市訪問団 27 名訪韓
--	--------------------------------	-------	---

企画政策部 秘書・広報課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	行政情報の提供・公開の推進 広報発行事業(P79)	15,003	「広報しばた」の発行 ・年間発行回数：24 回（毎月 1 日・15 日） ・年間発行ページ数：592 ページ ・年間発行部数：877,200 部
	F M 広報事業(P79)	19,000	「エフエムしばた」での番組制作・放送 通常番組：情報ボックス（1,098 回） 情報ランド（104 回） スポ ット放送（996 回） イベン ト告知（13 回） 緊急放送：火災情報（79 回） 気象情報 （21 回）ほか

企画政策部 情報政策課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	電子自治体の推進 行政情報システム運営事 業(P75)	27,734	基幹系システムの運用にかかる消耗品や 納付書等の印刷、データ入力委託などの管理 運用を行った。 16 業務システム （税、住民記録、健康管理など）
	行政情報システム機器管 理事業(P77)	118,958	基幹系システムの機器及びネットワーク の維持管理。住民基本台帳ネットワークシ ステムの機器更新を行った。 基幹系システム 1 セット 住民基本台帳 NW システム 1 セット 業務端末 159 台、プリンター 113 台 基幹ネットワーク接続施設 18 施設
	行政情報システム構築事 業(P77)	24,020	法改正や業務変更に伴う基幹系システム の改修を行った。 固定資産税・市県民税の法改正対応 法人市民税の法改正対応 農家台帳システム法改正対応 後期高齢者医療負担増凍結対応 ほか

	行政情報基盤整備事業 (P77)	47,349	行政情報基盤としての庁内ネットワーク及び端末の維持管理と、ウィルス対策やデータ暗号化などのセキュリティ強化を実施した。 庁内 LAN 端末 821 台 情報ネットワーク接続施設 56 施設 (本庁、19 出先機関、36 小中学校)
	行政内部情報システム構築事業(P77)	47,365	電子市役所構築に向けた電子決裁を基盤とする行政内部事務のシステム化を行っており、当初計画されていたシステムの構築を完了した。 情報公開システム稼動 総務支援システム稼動 既存システムの機能改修 e-ラーニングシステムの導入
	効率的・効果的な行政運営 国・県指定統計調査受託 事業(P109)	6,326	行政施策の基礎資料を得るため、商業統計調査(調査期日6月1日)就業構造基本調査(同10月1日)全国物価調査(同11月21日)等の統計調査を実施した。

#### 総務部 総務課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	成果を重視した自治体経営の確立 行政改革推進本部・懇談会運営事務(P85)	135	「市民満足経営」、「安定経営」の実現と充実をめざして、「行政改革推進計画(後期計画)」の着実な推進と、「まごころ行政運動」による庁内の改善活動をより一層推進するため、行政改革推進本部・懇談会を開催した。 行政改革推進本部会議 3回開催 行政改革推進懇談会 3回開催

#### 総務部 人事課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	時代の要請に応じた職員の能力開発と人材育成の推進 職員研修及び能力開発事業(P91)	7,074	行政のプロ意識をもち、多様化する市民ニーズに対応する人材育成のため、職員研修を実施した。 研修等受講者 延べ3,564人 主な研修と受講者数 ・新潟県市町村総合事務組合主催研修(階層別研修・専門研修など) 162人

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和問題講演会、同和問題職員研修会、男女共同参画社会形成研修 312 人</li> <li>・交通安全研修 400 人</li> <li>・行政対象暴力研修 896 人</li> <li>・クレーム対応力向上研修 700 人</li> <li>・メンタルヘルス研修 262 人</li> <li>・行政評価研修 238 人</li> <li>・技術者研修 69 人</li> <li>・A E D 講習会 51 人</li> <li>・多重債務者相談研修 38 人</li> <li>・担当業務、先進地視察研修 35 人</li> <li>・人事評価研修 26 人</li> </ul>
--	--	--	--

### 総務部 契約検査課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	効率的・効果的な行政運営 新電子入札システム導入事業(P73)	9,313	入札・契約事務の効率化、透明性、公正性、競争性の向上を目的として、新潟県との共同利用により電子入札システムを導入し、試行に向けて業者説明会を開催した。

### 総務部 税務課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	財政の健全性の確保 固定資産税・都市計画税賦課事業(P97)	115,391	<p>固定資産税の評価精度向上及び適正課税の推進のため評価資料等の整備を行い充実を図るとともに、平成 21 年度評価替えに向けて合併による課税資料の統一を進めた。</p> <p>標準宅地鑑定評価委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準年度の標準宅地鑑定・・・ 531 地点</li> <li>・時点修正の標準宅地鑑定・・・ 308 地点</li> </ul> <p>現況調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家屋現況図新規作成 ・・・紫雲寺・加治川地区</li> </ul>

### 総務部 収納課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	財政の健全性の確保 滞納整理事業(P99)	14,066	税財源の確実な徴収確保を目的に、滞納整理を推進し自主財源確保に努めた。
	収納検収事業(P99)	2,537	市税等を的確に収納するため、正確迅速な事務処理を図った。

**総務部 人権啓発課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
民生費	同和行政・同和教育の推進 隣保館管理運営事業 (P125)	9,429	同和行政・同和教育を推進するため、人権啓発の拠点施設である隣保館の管理・運営を行い、講演会や各種相談事業等、様々な啓発事業を通し、人権課題の解決に努めた。 平成19年度隣保館利用者数 14,155人
	部落解放同盟新発田住吉 支部支援事業(P127)	2,100	同和問題の早期解決を図るため、活動補助金を支出し、団体の支援を行った。

**選挙管理委員会事務局**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	効率的・効果的な行政運営 新潟県議会議員一般選挙 事業(P105)	33,161	平成19年4月8日執行
	新発田市議会議員一般選 挙事業(P105)	51,770	平成19年4月22日執行
	参議院議員通常選挙事業 (P107)	45,215	平成19年7月29日執行

**市民生活部 市民生活課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	効率的・効果的な行政運営 戸籍事務システム運営事 業(P101)	19,225	戸籍システムの利用により、戸籍事務の円滑化と事務処理の効率化を図った。
	住民基本台帳管理事業 (P101)	8,225	住民基本台帳法に基づく住民異動処理を適切に行った。
衛生費	生活困窮者の自立支援 公衆浴場確保対策事業 (P149)	3,547	公衆浴場の運営に要する経費の補助及び家庭風呂のない世帯への無料入浴券の交付により、公衆衛生の向上に努めた。

**市民生活部 地域安全課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	交通安全対策の充実 交通安全対策事業(P87)	7,225	交通安全教室の開催や交通安全運動の推進により、交通安全思想の普及に努め、交通事故発生件数の減少を図った。 交通安全教室

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 123回</li> <li>・参加人数 7,924人</li> </ul> <p>交通安全指導員出動人数 延べ715人</p> <p>交通安全運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回広報 116回</li> <li>・街頭指導 15回</li> </ul>
	放置自転車対策事業 (P87)	2,812	<p>交通の円滑化及び良好な生活環境の確保のため、新発田駅周辺における放置自転車の所有者に対し警告等を行った。併せて、駐輪場の整理と放置自転車の撤去を行い、利用者の利便性向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・警告台数 1,130台</li> <li>・撤去台数 210台</li> <li>・引取台数 110台</li> </ul>
土木費	交通安全対策の充実 交通安全施設整備事業 (P203)	6,875	<p>交通事故の防止対策として、カーブミラーや道路区画線等の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーブミラー新設 20件</li> <li>・警戒標識新設 1件</li> <li>・カーブミラー修繕 50件</li> <li>・警戒標識修繕 1件</li> <li>・区画線設置 35件</li> </ul>
消防費	消防・救急医療の充実 広域常備消防活動運営事業(P219)	953,127	<p>災害から市民の生命、身体及び財産の保護に努めた。(新発田地域広域事務組合負担金)</p> <p>《主な事業》</p> <p>消防設備整備(60,972千円)</p> <p>老朽化した救助工作車の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救助工作車 形 1台</li> </ul> <p>救急救命士養成(2,282千円)</p> <p>救急救命活動及び搬送業務の高度化に対応し、住民の安全安心を守るため、継続的に救急救命士を養成していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度 1名養成(年度末総数19名)</li> </ul> <p>職員研修(4,536千円)</p> <p>災害の複雑多様化に対応するため、専門教育と人材育成研修を行い職員の資質向上に努めた。</p> <p>消防ふれあい広場等(309千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期における防災教育の推進を図った。参加児童及び保護者 約900名</li> <li>・新発田市防災フェスティバルに参画し住民の防災意識の向上と火災予防啓発に努めた。</li> </ul>

	<p>非常備消防活動運営事業 (P219)</p>	<p>114,652</p>	<p>通信指令台等施設保守点検(6,437 千円) 機器の保守点検を定期的を実施し、トラブルの未然防止と消防緊急通信体制の確保に努めた。</p> <p>消防団員の資質向上を図るための各種訓練、研修を実施した。 また、災害出動や予防活動における費用弁償及び団員報酬の支給を行った。 消防団員報酬及び費用弁償 (51,547 千円) ・消防団員 1,578 人(H19.4.1 現在) ・分団数 18 分団 ・出動回数(訓練等含む) 420 回 (延べ 9,327 人)</p> <p>消防団員活動推進(15,400 千円) ・円滑な消防団活動を推進するため、研修、訓練及び被服の充実を図った。</p> <p>消防団員福祉対策(47,705 千円) ・消防団員の福利厚生対策の充実により、消防団の活性化を図った。</p>
	<p>消防施設整備事業(P221)</p>	<p>30,204</p>	<p>消防車両搭載型無線機を配備し、情報伝達体制の強化を図った。また、消火活動用の資機材配備と、消火栓や防火井戸の整備を行い消防力の強化に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防車両搭載無線機配備 26 台</li> <li>・消防無線受令機配備 33 台</li> <li>・消防ホース 20 本</li> <li>・背負式水のう 24 台</li> <li>・消火栓整備 23 基</li> <li>・防火井戸 1 基</li> </ul>
	<p>防災体制の充実 防災基盤整備事業(P219)</p>	<p>20,021</p>	<p>小型動力ポンプ及び積載車の新規配備や防火水槽等の新設により、消防機動力の強化と、消防水利の充足率向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽の新設(40 t) 1 基</li> <li>・消防器具置場新築 2 棟</li> <li>・小型動力ポンプ(C-1) 6 台</li> <li>・小型動力ポンプ積載車 1 台</li> </ul>
	<p>防災対策推進事業(P221)</p>	<p>6,875</p>	<p>各種防災啓発事業を実施し、防災関係機関・団体との連携強化を図るとともに、地震、水害の被害想定をまとめた「新発田市ハザードマップ」を全戸に配布し、市民の防災意識の高揚を図った。</p>

	災害対策事業(P221)	10,790	<p>また、自主防災組織の組織化・活動支援を行うとともに、災害時要援護者対策を推進し、地域の防災体制の強化・充実に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災フェスティバルの開催</li> <li>・総合防災訓練の実施</li> <li>・自主防災組織の育成・拡充</li> <li>・災害時要援護者対策（名簿の整備）</li> <li>・ハザードマップシステムの維持管理</li> </ul> <p>災害や緊急事態に対応するため、防災機関・団体と連携し、防災体制の強化に努めた。</p> <p>また、7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」の被災地への支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市防災会議の開催</li> <li>・山岳遭難連絡協議会の開催</li> <li>・防災行政無線の管理運営</li> <li>・消防防災ヘリコプターへの負担</li> <li>・中越沖地震の被災地への救援物資供与</li> </ul>
	新 災害情報伝達システム整備事業(P221)	6,150	<p>地域コミュニティFM放送を活用し、避難勧告などの緊急情報を伝達するための装置として、緊急告知FMラジオの実証実験を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急告知FMラジオ 654台</li> <li>・緊急信号発信器 2台</li> <li>・難聴地域の把握</li> </ul>

市民生活部 環境衛生課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
衛生費	環境美化の推進 環境美化推進事業(P153)	7,644	<p>ごみの不法投棄防止の巡回調査や回収のほか、新発田大クリーン作戦などを実施、不法投棄の防止と生活環境の向上に務めた。</p> <p>大クリーン作戦ボランティア参加者 20,936人</p> <p>同 ゴミ回収量 総量 38.5t うち可燃ごみ 9.4t うち不燃ごみ 29.1t</p>
	循環型社会への転換 可燃ごみ・不燃ごみ収集処理事業(P155)	154,650	<p>家庭ごみの収集処理経費の一部を市民に負担してもらうことで、ごみの減量化推進を進めた。</p> <p>家庭ごみ収集量 19,033t うち可燃ごみ 18,044t うち不燃ごみ 989t</p>
	家庭ごみ有料化事業(P155)	49,561	

家庭生ごみ堆肥化モデル事業(P155)	8,028	家庭生ごみの適正分別を実施し、分別を徹底し、堆肥センターへ搬入することで生ごみの再資源化、資源循環を推進した。
資源ごみ収集処理事業(P155)	143,360	生活系ごみと資源ごみの分別を徹底し、資源リサイクル、資源循環を推進した。 資源ごみ収集量 6,429t リサイクル率 25.2%

**市民生活部 公共交通対策課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	公共交通ネットワークの構築 公共交通対策事業(P83)	65,406	市民の生活の足の確保のため、営業廃止路線への代替バスの運行補助(10路線)及び営業路線の運行維持に必要な運行欠損額の一部補助(3路線)を行った。

**健康福祉部 健康推進課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
衛生費	健康づくり意識の向上 保健センター管理運営事業(P143)	4,061	保健事業の拠点となる保健センターを管理運営した。 保健センター 4箇所 利用者延べ人数 26,681人
	健康プラザしゅんじ管理運営事業(P143)	8,123	健康プラザしゅんじ施設の維持管理及び事業運営を行った。 利用者延べ人数 6,839人
	めざせ100彩健康づくり推進事業(P145)	3,648	子どもの頃からの健全な生活習慣確立及び成人期の生活習慣改善のため、「望ましい食習慣の確立・定着」「運動習慣の定着」「健康管理の定着」を柱に事業展開を図った。 ○主な事業 ・しばた食彩フェア 7/1 2,755人 ・20万歩チャレンジ事業 通年 実315人 延べ1,639人
	新発田市保健自治会支援事業(P145)	3,940	健康の保持増進と生活環境の健全化を目指し、新発田市保健自治会の支援を行った。
	健康管理の充実 基本健康診査事業(P145)	99,382	19歳以上の市民を対象に生活習慣病の早期発見・早期治療と疾病予防を目的に健診を実施した。

			受診者数 11,588人
成人保健活動事業(P145)	3,365		成人に対し健康手帳の配布・健康教育・健康相談・訪問指導を行った。 延べ参加者数 853人 延べ訪問指導者数 1,118人
がん検診事業(P145)	75,444		胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がんの早期発見、早期治療を目的に検診を実施した。 胃がん検診受診者 5,842人 大腸がん検診受診者 5,666人 肺がん検診受診者 13,689人 子宮頸がん検診受診者 2,073人 乳がん検診受診者 1,818人 前立腺がん検診受信者 823人
結核予防事業(P147)	7,331		疾病の早期発見と早期治療を目的に検診を実施した。 受診者数 9,337人
母子保健活動事業(P147)	5,135		子どもの健全な発達、発育のため母子の健康教育などを実施した。 参加人数 7,502人 実施回数 208回 実施事業 母子手帳発行 母親、両親学級 育児教室 ブックスタート 育児相談
母子健康診査事業(P147)	29,663		健康確認と異常の早期発見に併せて、育児不安の軽減を図るため母子の健診を実施した。 受診者数 6,064人 実施回数 72回 実施事業 妊婦一般健康診査 乳児一般健康診査 乳幼児健診(集団) 乳幼児精密検査
歯科健診・予防事業(P147)	10,711		歯科疾患の早期発見と疾病予防のために歯科の健診と予防処置を実施した。 延参加者数 11,639人 実施回数 158回 実施事業 母子歯科健診 6歳児歯科健診

	<p>成人歯科健診 フッ素塗布 フッ素洗口</p>		
	<p>予防接種事業(P151)</p>	97,204	<p>感染症を防止するため予防接種を実施した。(H19 からポリオ以外個別化)</p> <p>延接種者数 20,686 人 実施回数(集団) 11 回 実施項目 ポリオ BCG 三種混合、二種混合 麻しん風しん 日本脳炎 高齢者インフルエンザ</p>
	<p>医療保険の安定運営 広域救急診療参画事業 (P147)</p>	13,267	<p>休日及び平日夜間に一次医療を受けられるための事業に参画した。</p> <p>利用市民数 9,225 人 開設回数 559 回</p>

**健康福祉部 高齢福祉課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
民生費	<p>医療保険の安定運営 ひとり暮らし・寝たきり 高齢者医療費助成事業 (P117)</p>	1,588	<p>65 歳以上の一人暮らし高齢者及び寝たきり高齢者の医療費給付を行った。</p>
	<p>後期高齢者医療広域連合 参画事業(P119)</p>	27,488	<p>後期高齢者医療制度の運営を行う新潟県広域連合の事業に参画し、広域連合共通経費負担金を支出した。</p>
	<p>新 後期高齢者医療制度準備 事業(P119)</p>	2,075	<p>平成 20 年 4 月からスタートした制度の保険証を郵送、様式印刷等を行った。</p>
	<p>&lt;繰越明許費分&gt; 後期高齢者医療広域連合 参画事業(P119)</p>	30,370	<p>後期高齢者医療制度創設のための住基情報等提供システム、保険料徴収システム等開発委託及びパソコン機器の整備を行った。</p>
	<p>高齢者福祉の推進 高齢者地域生活支援事業 (P119)</p>	2,164	<p>新発田市社会福祉協議会が運営している高齢者給食サービス及びふれあい学院の運営に対する補助金を交付した。</p> <p>給食サービス 延利用者 4,410 人 ふれあい学院 受講者 25 人</p>

高齢者住宅整備支援事業 (P119)	550	高齢者の身体状況に適したものに住宅改造を行う際に要する経費を補助することにより、自立した生活を送り、介護者の負担を軽減することができる住宅環境の整備を図った。 利用者 3世帯
高齢者日常生活用具給付事業(P119)	1,538	寝たきり又は一人暮らしの低所得高齢者に日常生活用具を給付することによって、生活の利便と安全を図った。 利用者 電磁調理器 3世帯 火災警報器 96世帯 自動消火器 1世帯
高齢者福祉電話設置事業 (P119)	588	一人暮らし高齢者等の安否確認及び相談に対応するため電話を貸与し、基本料金を扶助し福祉の増進を図った。 利用者 28世帯
緊急通報装置設置事業 (P119)	10,062	一人暮らし高齢者等の緊急事態に対処するため、緊急通報装置を設置した。 利用者 233世帯
高齢者寝具乾燥事業 (P119)	332	在宅の寝たきり高齢者等の寝具の丸洗いや乾燥を行い、衛生の保持及び福祉の増進を図った。 利用者 17世帯
居宅介護支援事業(P119)	17,741	要介護認定者に対し介護サービス計画を作成する居宅介護支援事業に補助を行い、介護保険制度の円滑な運営を図った。
高齢者自立支援サービス事業(介護保険対象外) (P119)	13,963	自立した生活が送れるように、介護保険対象外の高齢者に対し、各種のサービスを提供した。 家事援助サービス 14人 デイサービス 1人 短期入所 1人
外国人高齢者福祉手当助成事業(P119)	560	日本国籍を有しないために老齢年金を受給できない外国人に、福祉手当を支給した。 受給者 5人
豊浦福祉センターほうづきの里管理運営事業 (P119)	14,756	心身の保護、レクリエーションの便宜等を総合的に供与し福祉の向上を図った。 延利用者 38,523人
紫雲寺老人憩いの家眺海	9,495	心身の保護、レクリエーションの便宜等を

荘管理運営事業(P119)		総合的に供与し福祉の向上を図った。 延利用者 7,011人
加治川総合福祉センター さくら苑管理運営事業 (P119)	12,817	心身の保護、レクリエーションの便宜等を 総合的に供与し福祉の向上を図った。 延利用者 4,600人
養護老人ホーム入所支援 事業(P121)	178,464	在宅での生活が困難と認められる一人暮 らし等の高齢者に養護老人ホームの入所措 置を行った。 対象者 103人
広域養護老人ホーム参画 事業(P121)	29,936	「あやめ寮」及び「ひめさゆり」の施設運 営を行っている新発田地域老人福祉保健事 務組合に対し、施設運営費として負担金を支 出した。
老人福祉センター金蘭荘 参画事業(P121)	17,863	高齢者の教養の向上やレクリエーション 等の便宜に供するため、金蘭荘運営事業の助 成を行った。 延べ利用者 11,015人
特別養護老人ホーム参画 事業(紫雲寺・加治川福 社会)(P121)	42,227	特別養護老人ホームの健全な運営を図る ため、建設償還金を負担した。
加治川地区ひとり暮ら し・寝たきり高齢者生活 支援事業(P121)	253	合併前に加治川村軽度生活支援及び訪問 理美容サービスを利用した事のある者に対 し、サービスを提供した。 利用者 軽度生活支援 15人 雪おろし 4人 訪問理美容 2人
新地域介護・福祉空間整備 等交付金事業(P121)	15,000	認知症対応型共同生活介護施設(グループ ホーム)の建設を行う民間事業所に、厚生労 働省の地域介護・福祉空間整備等交付金を交 付した。
介護保険・介護予防の推進 低所得者介護サービス利 用助成事業(P123)	4,006	低所得者に対して、介護保険サービス利用 者負担額を減免した社会福祉法人に対し、当 該減免額の2分の1を助成した。 軽減対象者 183人 助成社会福祉法人 7法人 ホームヘルプサービスを利用していた低 所得者がホームヘルプサービスを受ける場 合の利用負担金を10%から3%(障害者)に

	介護予防支援事業(P123)	3,003	<p>軽減した。 該当者数 障害者 14 人</p> <p>要支援認定を受けたサービス利用申込者に対し、予防給付に関するケアマネジメント業務を行った。 介護予防支援件数 新規 62 件 継続 1,092 件</p>
--	----------------	-------	---

#### 健康福祉部 総合健康福祉センター

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
民生費	高齢者福祉の推進 地域ふれあいルーム事業 (P121)	25,791	<p>市内 2 か所に新たに設置し、高齢者に集いや交流の場を提供し、孤立感の解消、要介護状態への移行防止を図った。 市内設置数 15 か所</p>
	敬老会開催事業(P123)	19,505	<p>長寿を祝い、高齢者を敬うための敬老会を、地域組織と一体となって開催した。 市内 22 か所で開催 参加者 4,550 人 参加率 32.7%</p>
	シルバーふれあい教室事業(P123)	4,061	<p>高齢者が健康で、生きがいをもって生活できるよう、各種趣味の講座を開催した。 講座数 14 回 参加者数 延 2,189 人</p>
	シルバー人材センター支援事業(P123)	54,178	<p>高齢者の生きがいづくり、健康づくりを図るため、新発田地域シルバー人材センターの運営に対する支援や、市の公共施設の清掃や管理等の作業を委託した。</p>
	新発田市老人クラブ支援事業(P123)	12,229	<p>単位老人クラブ及び老人クラブ連合会の運営と活動を支援した。 単位老人クラブ数 151 老人クラブ会員数 7,604 人</p>

#### 健康福祉部 こども課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
民生費	子育て支援の推進 延長保育事業(P129)	16,403	<p>多様化する保育ニーズに対応するため、保育時間を延長し 11 時間以上保育を実施する私立保育園に対し補助金を交付し、子育て環境の充実を図った。 実施私立保育園 3 園</p>

地域子育て支援センター事業(P129)	5,455	市内6保育園に子育て支援室を設置し、育児相談、遊び方の指導、子育てサークルの育成等を行い、地域の子育て家庭に対し育児支援をした。 利用延べ人数 15,157人
私立保育園支援事業(P129)	38,427	女性の社会進出に伴い、要望の多い未満児保育事業や施設整備等について、私立保育園に補助するなどし、保育サービス及び子育て支援の充実を図り、子どもを安心して産み育てられる環境を整備、推進した。
児童手当支給事業(P133)	719,527	家庭における生活の安定と次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上を図るため、小学校修了前の児童を養育している人に手当を支給した。 児童手当 延べ人数 24,193人 特例給付 延べ人数 206人 小学校修了前特例給付 延べ人数 85,945人
第三子以降誕生奨励事業(P139)	4,650	出生率の向上と次代を担う子どもの健やかな成長に寄与することを目的とし、安心して子どもを産み育てることができる社会環境づくりのため、第3子以降を出産した者又は養育者に対し、養育費用の一部を交付した。(1件の上限額5万円) 交付件数 94件
家庭児童相談事業(P139)	3,645	子育てに不安を持つ保護者に安心して子育てをしてもらうため、家庭における子どもの養育等に関する相談指導を行った。 相談実人数 492人
子育て支援事業(P139)	2,320	子育て中の保護者に対し、遊びの場や友達づくりの場の提供及び育児相談等を行い保護者の育児ストレスや育児不安の軽減、解消を図った。 利用延べ人数 28,800人
ファミリーサポートセンター事業(P139)	2,279	育児と仕事の両立及び子育て家庭の育児を支援するため、ファミリーサポートセンターが「育児の援助が必要な会員」に「育児の援助ができる会員」を紹介し、地域で子育てを支援した。 活動延べ件数 2,934件

	子ども発達相談事業 (P139)	7,975	子どもの健全な成育発達を支援するため、ことばの遅れや行動面及び、心身の発達上の心配をもつ子どもと保護者等に対し、相談・療育指導を行った。 利用実人数 205人
	乳幼児保育の充実 保育園維持管理事業 (P131)	83,361	次代を担う児童の健全な育成を図り、保育環境の維持・改善のため施設の補修を行なった。
	私立保育園運営委託事業 (P131)	478,783	保育に欠ける世帯において、児童の健全育成のために、私立保育園に保育を委託した。 委託保育園数 6園
	障害児保育事業(P131)	30,976	障がい児の福祉向上のため、保育園の受入態勢の整備や経費の補助を行い、保育園における障害児の受入促進を図った。 受入障害児数 37人
	保育園通園バス支援事業 (P131)	23,182	へき地保育所等の統廃合により、送迎が広範囲になった地域に通園バスを運行することにより、保護者の負担軽減を図った。 稼動通園バス台数 10台 入替通園バス台数 1台
	へき地保育所管理運営事業(P135)	11,429	老朽化の著しいへき地保育所施設の保育環境の維持・改善を行った。 へき地保育所の運営を地域の運営委員会へ委託した。 へき地保育所数 3園
	加治・中倉地区統合保育園建設事業(P139)	56,748	老朽化している加治保育園、上館保育園、中倉保育所、蔵光保育所を統合し、新たに保育園を建設するため、事業用地の買収及び周辺道路の整備等を行った。 事業用地(保育園用地) 8,600.03 m <sup>2</sup> 事業用地(道路用地) 388.86 m <sup>2</sup>
衛生費	子育て支援の推進 乳幼児医療費助成事業 (P149)	138,422	乳幼児の医療費の一部を助成することにより、経済的負担を軽減し、安心して子どもを生み育てる環境整備を図った。 医療費助成延べ人数 73,650人
教育費	子育て支援の推進 幼稚園就園奨励支援事業	34,987	私立幼稚園の振興に努め、教育の成果向上

	(P241)		を図るため、対象園児の保護者に補助を実施し、市立幼稚園との保育料の格差を縮め、保護者の教育費負担軽減を図った。 対象園児数 387人
	乳幼児保育の充実 私立幼稚園支援事業 (P241)	2,000	私立幼稚園4園に対し1園当たり500千円を補助し、園の経営健全化を図った。
	幼稚園通園バス支援事業 (P241)	5,625	園の統合により、送迎が広範囲になった地域に通園バスを運行することにより、保護者の負担軽減を図った。 稼動通園バス台数 3台

**健康福祉部 社会福祉課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
民生費	生活困窮者の自立支援 社会福祉協議会支援事業 (P113)	83,727	社会福祉協議会に助成を行い、民間福祉団体の育成に努め、地域の社会福祉活動を推進した。
	民生委員児童委員連合会 支援事業(P113)	6,458	民生委員児童委員連合会の運営のための助成を行い、連合会による地域福祉活動の支援とボランティア活動の拡大を行った。
	社会福祉センター運営支 援事業(P113)	22,181	ボランティア活動と地域福祉・在宅福祉活動の拠点としての社会福祉センターの助成を行った。 センター利用状況 21,383名
	ボランティア活動推進支 援事業(P113)	926	各種ボランティア講座の開催 5回 ボランティア保険 登録数 1,452名 ボランティア協議会事業の開催 ボランティア研修会の開催
	ボランティアフェスティ バル開催事業(P113)	650	ボランティアフェスティバルの開催 参加者 3,000名
	困りごと相談事業(P113)	1,575	心配ごと相談事業を社会福祉協議会に委託し、心配ごと相談所(市役所内)を開設し、相談、指導助言を行った。 延べ相談件数 575件
	生活保護扶助費助成事業 (P141)	651,869	生活に困窮する被保護者に対して必要な保護を行った。 月平均世帯数 392世帯 月平均人員 554人

障害者福祉の推進 特別障害者手当支給事業 (P115)	114,858	在宅で精神や身体に著しい重度の障がいがあり、日常生活で常時特別の介護を必要とする者(児)に支給した。 受給者数 397件((者)344件、(児)46件、(経過)7件)
重度障害者医療費助成事業 (P115)	145,718	身体障害者手帳1~3級、療育手帳A判定の者(児)を対象に医療費を扶助した。47,664件
下越障害福祉事務組合参画 事業(P115)	79,701	いじみの学園、ひまわり荘等を運営する当該組合に対し、関係市町村で運営費を負担した。
のぞみの家福祉会運営支援 事業(P115)	2,429	当該法人が運営する「のぞみ工房」や「希望の家」の施設建設等に係る借入金の償還と「支援センタースクラム」等の運営費を補助した。
阿賀北福祉会参画事業 (P115)	2,575	知的障害者更生施設「やまやの里」の施設建設に係る借入金を関係市町村で負担した。
障害者自立支援給付事業 (P117)	677,964	障がい者(児)が、能力や適性に応じて自立した生活や社会生活を営むことができるよう、自立支援費医療費や介護給付費・訓練等給付費、補装具費等の支給を行った。
(障害福祉サービス(介護・訓練等給付)費)(P117)	(600,545)	障害福祉サービス費、療養介護医療費、特別対策(事業運営円滑化事業)などの給付を行った。
(自立支援医療(更生医療)費)(P117)	(53,772)	身体障がい者の更生に必要な医療で、その障がい除去又は軽減することにより、職業能力又は日常生活を容易にすることを目的に給付を行った。 給付件数 248件
(補装具給付費)(P117)	(14,442)	身体障がい者、児の失われた機能を補完、代替用具を交付、修理を行った。 給付件数 192件
(通所サービス利用促進事業補助金)(P117)	(4,950)	障害者自立支援法特別対策事業として、日中活動サービス事業所の通所施設における送迎サービスに対し助成を行った。
障害者地域生活支援事業 (P117)	66,381	障がい者(児)が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、相談支援事業やコミュニケーション支援事業、日常生活用具の支

			給等必要な支援を行った。
	(地域活動支援センター補助金)(P117)	(17,806)	NPO法人はとの会、自立生活センター新発田等の運営費を補助し、運営基盤の強化を図った。
	(相談支援委託料)(P117)	(12,437)	緑風園相談室(身体・知的障がい者)、こころの相談支援ウイング(精神障がい者)を開設し、障がいのある方及び保護者等からの相談に応じ、必要な情報提供や権利擁護のために必要な援助を行った。
	(福祉タクシー利用扶助)(P117)	(10,602)	障がい者の社会参加と経済的負担の軽減を図るため福祉タクシー6,604千円(812人)、リフト付きタクシー3,998千円(295人)の利用助成を行った。
	(日常生活用具支援事業扶助)(P117)	(16,792)	重度心身障がい者が在宅生活を容易に過ごすために日常生活用具の給付を行った。 給付件数 1,534件
	(移動支援等事業扶助)(P117)	(6,747)	屋外で移動が困難な障がいのある人について、外出のための支援等を行った。 給付件数747件
	福祉電算システム管理運営事業(P117)	24,730	総合福祉システムの保守委託、管理運営やシステム改修を通じ事務の効率化を図った。
	子育て支援の推進 児童扶養手当支給事務(P133)	320,963	母子家庭等に手当を支給し、児童の健やかな成長と養育、家庭生活の安定と自立促進を図った。 受給世帯 750世帯
	ひとり親家庭等医療費助成事業(P133)	47,391	ひとり親家庭等に医療費を助成し、ひとり親家庭の福祉向上を図った。 受給世帯 738世帯
衛生費	障害者福祉の推進 精神障害者通所授産施設運営事業(P149)	11,278	自活、社会復帰のため必要な訓練及び指導を行う通所授産施設「夢工房しば草」の運営を行った。 利用者数37名
	精神障害者入院医療費助成事業(P149)	3,354	精神障がい者の入院医療費を助成し、家族負担の軽減を図った。 助成件数220件

土 木 費	生活困窮者の自立支援 公営住宅維持管理事業 (P217)	5,842	市・県営住宅（6 団地）の修繕、改修、設備の点検などを行い、入居者の住環境の維持管理を行った。 家賃算定、徴収、申込受付、入退去などの入居管理を行った。 管理戸数 市営 214 戸 県営 60 戸 合計 274 戸
	居住環境改善事業(P219)	15,072	老朽化した旧市営新井田第1・第2団地の入居者が借り上げた民間賃貸住宅に転居することで、居住環境の改善を行った。 借上料 15,072 千円 借上げ戸数（平成 19 年度末戸数）31 戸

**産業振興部 商工振興課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
労 働 費	雇用の促進と安定化 住宅建設資金貸付事業 (P157)	41,826	定住・持家の促進及び居住環境の向上を図るため、住居の新築、増築、改築、改装、修繕又は購入の希望者へ資金のあっせんを行った。
	勤労者福祉サービスセンター支援事業(P157)	12,600	勤労者の福利厚生の上昇と雇用の安定促進に資するため、(財)新発田市勤労者福祉サービスセンターに対して管理運営費を補助した。
商 工 費	食品産業への支援体制と生産基盤の整備 中小企業団体共同施設等 資金貸付事業(P183)	4,090	高度化資金を利用し、施設設置する中小企業へ資金のあっせんを行った。
	経営・産業基盤の充実強化 商工振興制度融資・支援 事業(P183)	667,440	中小企業者の経営安定と資金の円滑な調達及び経営基盤の強化を図るため、資金のあっせんを行った。 ・ 県地方産業育成資金 ・ 中小企業振興資金 ・ 中小企業活性化対策資金 ・ 経営健全化対策資金 ・ 中小企業独立開業資金
	西部工業団地維持管理・ 販売促進事業(P183)	197,229	西部工業団地進出企業の経営基盤の強化を図るため、資金のあっせん及び事業用資産取得助成金の交付を行った。 ・ 事業用資産取得助成金

	新発田市商工観光振興協議会運営支援事業(P183)	10,317	交付実績：6件 商業、工業、観光の各団体の横連携を図り、活動の活性化と効果的、効率的な事業推進のために補助を行った。
	工場等誘致事業(P183)	3,654	藤塚浜工業団地に優良な企業を誘致するため、工場用地の造成を行った。
	中心市街地のにぎわい創出地域交流センター管理運営事業(P183)	30,159	「交流と連携」、「中心市街地のにぎわい創出」の拠点である地域交流センターの管理運営を委託した。

### 産業振興部 観光振興課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
商工費	地域資源を活用した観光産業の振興 海水浴場管理運営事業 (P187)	11,596	海水浴場の安全対策、海岸美化を図るため協議会に負担するとともに、駐車場用地を取得した。 【用地購入費】面積：2,998 m <sup>2</sup> 金額：10,343,100 円 【海水浴場安全対策協議会負担金】 550,000 円 【北蒲原海浜地区ビーチクリーナー協議会負担金】 600,000 円
	健康づくりの郷事業 (P187)	5,956	健康づくりの素材として「温泉療法」「運動療法」「食事療法」「環境療法」を組み合わせた実践プログラムを(社)民間活力開発機構の協力のもと作成し、市民及び市外の方を対象に「健康づくり大学」を3回(月岡温泉2回、紫雲の郷1回)開催した。 平成19年6月19日(火)～21日(木) 平成19年10月16日(水)～17日(木) 平成20年2月6日(水)～7日(木) 参加者：延べ166名 実人員：102名(市内71名、市外31名)
	観光イベント開催事業 (P189)	21,008	財団法人新発田市まちづくり振興公社へ、各種イベントの開催や観光資源のPRなどの事業を委託し、商業、物産など本市の産業や観光の振興を図った。 越佐招魂祭 あやめまつり 花市

	新 月岡温泉周辺整備事業 (P189)	26,000	<p>新発田豊年秋まつり 県内外 P R 事業</p> <p>月岡源泉協同組合、新潟県新発田地域振興局が整備する足湯周辺施設整備事業と月岡温泉観光協会が整備するカリオンパーク花壇整備に、事業費を負担し、観光の振興を図った。</p> <p>【足湯周辺施設整備負担金】 20,000,000 円 足湯施設：木造平屋建て 154 m<sup>2</sup> 足湯、情報館、演舞場</p> <p>【月岡カリオンパーク整備負担金】 6,000,000 円 カリオンパーク花壇：整備面積 608 m<sup>2</sup></p>
	観光推進体制の充実 月岡温泉観光協会支援事業(P189)	24,242	<p>月岡温泉観光協会の実施する各種イベントや広報活動を通じた P R を支援し、「月岡温泉」へ県内外から集客を図り、観光や商業、物産など本市の産業振興に貢献したことに支援した。</p>
	中心市街地のにぎわい創出 市街地賑わい創出事業 (P191)	3,900	<p>「落谷虹児物語」等を開催する市民グループの活動を支援し、市内外からの誘客を図り、にぎわいの創出につなげた。</p> <p>落谷虹児物語開催期間 平成 19 年 10 月 6 日～21 日 期間中の入込客数 16,090 人</p>
	ふるさとしばた「食」と 「職」のおまつり開催参 画事業(P191)	4,000	<p>「食」をテーマとした地元農産物・食品の販売やお菓子バイキングのほか、「職」をテーマとした城下町新発田 400 年の歴史と伝統の職人技を一堂に会し、実演、展示や体験コーナー等のイベントを実施した。</p> <p>日程：平成 19 年 10 月 6 日(土)～8 日(祝) 会場：地域交流センター 来場者：約 7,500 名</p>

**産業振興部 農林水産課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
農林水産業費	耕畜連携による農畜産物の高付加価値化 新発田市農業研修センター参画事業(P163)	8,000	時代のニーズに添った課題等について、試験実証を通じ農業者への情報を発信するとともに、新発田ならではの農産物発掘のため

			<p>の実証を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気象感応試験による技術情報等の提供</li> <li>・ 堆肥施用による土づくり、特別栽培米実証</li> <li>・ 国県委託試験(カドミウム吸収抑制技術確立研究)</li> <li>・ 新発田の在来農産物の掘起こし及び栽培実証</li> <li>・ 枝豆「大峰かおり」等種子採り実証</li> </ul>
	米生産調整推進事業 (P165)	2,300	<p>米政策改革大綱に基づき、需要に即した売れる米づくりを目指し、米づくりの本来あるべき姿の実現に向けた取り組みと米の生産調整を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産調整推進資料 5,500部</li> </ul>
	園芸振興支援事業(P167)	25,291	<p>園芸用ハウス等の整備支援によって、園芸複合経営体の育成強化、県園芸指定産地の育成による産地づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仔ゴハ<sup>o</sup>パイハウス・養液栽培施設 6件</li> <li>・ チューリップ切花パイハウス 5件</li> <li>・ オタネ<sup>o</sup>等野菜パイハウス 4件</li> <li>・ いちじく等果樹パイハウス 3件</li> <li>・ 非破壊糖度酸度測定器 1件</li> </ul>
	地域農業確立対策支援事業(P167)	1,805	<p>生産条件整備、複合営農推進及び集落営農等を支援し、地域農業の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直播田植機 1件</li> <li>・ アスパラガス生産拡大 1件</li> <li>・ ヤマイ<sup>o</sup>生産拡大 1件</li> </ul>
	カメムシ類防除対策事業 (P167)	4,004	<p>カメムシ類の防除対策として河川堤防の草刈りを農家組合等へ委託し実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委託区域 45区域</li> <li>・ 委託面積 376,666㎡</li> </ul>
	新発田市食料・農業振興協議会運営事業(P167)	10,000	<p>本市の農業振興の基本方針を協議し、食料、農業及び農村に関する施策の推進を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校給食での地元食材利用供給拡大</li> <li>・ アスパラガスを活用したキャンペーン事業支援</li> <li>・ 在来希少農産物発掘調査 など</li> </ul>
	豊かな大地再生支援事業 (P167)	8,236	<p>土づくりを推進するため、有機資源センターの堆肥を5ha以上散布する農家に堆肥散布助成を行った。</p>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象面積 418ha</li> <li>・上乘助成面積 200ha</li> </ul> <p>(特別栽培米生産)</p>
新	元気でおいしい農産物づくり推進事業(P167)	2,755	<p>堆肥活用とトレーサビリティを基本とした農産物の栽培実証を行う研究会を立上げ、堆肥活用試験畑による、土壌・作物分析による検証を行い、環境保全型農業と安全安心でおいしい農産物づくりの推進と地消地産の普及拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土づくり研究会 3回</li> <li>・試験栽培ほ場数 11箇所</li> <li>・試験栽培品目数 8品目</li> </ul>
	農業担い手の育成・支援 農業経営支援利子助成事業(P167)	2,999	<p>認定農業者が借り入れる農業経営基盤強化資金への利子助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成対象者数 延べ93人</li> </ul>
	新発田市農業経営改善資金貸付事業(P167)	14,749	<p>農業経営改善のための資金貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸付対象者数 延べ37人</li> </ul>
	新規就農者支援事業(P167)	2,533	<p>就農支援資金の元金償還金補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助対象者数 2名</li> </ul>
	農業法人化支援事業(P167)	25,953	<p>農業法人の設立や集落営農組織の発展に必要な機械導入や施設整備に係る経費を助成し、農業法人化等を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象法人及び集落営農数 3件</li> <li>・導入機械、施設 <ul style="list-style-type: none"> <li>トラクター(75、90ps) 2台</li> <li>田植機(8条植) 2台</li> <li>農機具格納庫 1棟</li> <li>大豆管理機(付属機含む) 1台</li> <li>コンバイン(6条刈) 2台</li> <li>レーザーレベラー等 1式</li> </ul> </li> </ul>
	地域資源を活用した農林水産業の振興 中山間地域等直接支払交付事業(P169)	50,946	<p>生産条件の不利な中山間地域における協定集落に対し交付金の交付を行い、中山間地域の農業・農村が有する多面的機能の維持・増進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定集落数 14集落</li> <li>・協定面積 423ha</li> </ul>
	猿害対策事業(P169)	3,970	<p>中山間地域等で頻発する猿の被害に対応</p>

	<p>耕畜連携による農畜産物の高付加価値化 有機資源センター管理運営事業(P169)</p>	88,192	<p>するため、群れの動向監視と銃による追払いを行った。また、犬による追払いを行うためモンキードックの育成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追払い稼働日数(5/29~11/10) 89日×4人 延べ356日</li> <li>・モンキードック育成 2頭</li> </ul> <p>有機資源センター3施設で、12,274トンの家畜排せつ物や食品残渣等から堆肥(肥料)を生産するとともに、農地等への還元(散布)を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堆肥生産量 <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊堆肥 4,200トン</li> <li>普通肥料 1,300トン</li> </ul> </li> <li>・堆肥還元(散布)量 <ul style="list-style-type: none"> <li>特殊堆肥 4,200トン</li> <li>普通肥料 900トン</li> </ul> </li> </ul>
	新潟北部第二区域畜産基地建設事業償還金(P169)	22,733	<p>高能率な畜産経営生産団地として整備した新潟北部第二区域畜産基地建設事業費の償還を行った。</p>
	自然とふれあう空間の創造 滝谷森林公園管理運営事業(P175)	10,018	<p>市民の交流や健康増進及び地域産業の振興を図るため、指定管理者制度に基づく管理委託を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用人数 12,013人</li> </ul>
	自然環境保全の推進 松くい虫防除事業(P177)	56,992	<p>松林を松くい虫被害から守るため、被害木の伐倒駆除及び薬剤による防除を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伐倒駆除 <ul style="list-style-type: none"> <li>五十公野山 2,399本(2,009m<sup>3</sup>)</li> <li>紫雲寺地区 1,909本(495m<sup>3</sup>)</li> </ul> </li> <li>・薬剤散布(地上防除) <ul style="list-style-type: none"> <li>五十公野山 45ha×2回</li> <li>紫雲寺地区 1ha</li> </ul> </li> <li>・薬剤散布(航空防除) <ul style="list-style-type: none"> <li>真木山 8ha</li> <li>紫雲寺地区 196ha</li> </ul> </li> </ul>
	地域資源を活用した農林水産業の振興 森林整備地域活動支援事業(P177)	2,880	<p>森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう適切な森林整備の推進に向け、計画</p>

			<p>的な森林施業が適時適切に行われるための地域活動への支援を行った。</p> <p>森林情報の収集活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>区域の面積、樹種、林齢、成立本数等、施業の集約化に必要となる情報の収集</li> </ul> </li> <li>・協定締結面積 19.36ha</li> <li>・実施面積 19.36ha</li> </ul> <p>施業実施区域の明確化作業等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>施業実施区域の明確化作業、歩道の整備等</li> </ul> </li> <li>・協定締結面積 517.57ha</li> <li>・明確化実施面積 8.56ha</li> <li>・整備歩道延長 7,250m</li> </ul> <p>きのこ(エノキ茸)の生産活動の効率化とコスト低減を図るための機械導入へ補助を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入機械 ピロー包装機 1台</li> </ul> <p>間伐を推進し、森林の健全化及び林業振興を図るための高性能林業機械導入へ補助を行なった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入機械 フォワーダ 1台</li> </ul>
	林業振興支援事業(P177)	4,764	

産業振興部 農村整備課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
農林水産業費	自然とふれあう空間の創造 県営地域用水環境整備 (加治川2期地区)参画事業(P171)	3,203	事業に対する負担金 ポケットパーク実施設計 2カ所 ・管理用道路舗装工 L = 1,000m
	防災体制の充実 県営ため池等整備(上三光地区)参画事業(P171)	2,590	事業に対する負担金 ・三光川、新城江頭江工 護床工 A = 281 m <sup>2</sup>
	新 赤沼川排水路改修事業 (P171)	5,200	事業に対する負担金 水路工 L = 20m
	農業生産基盤の整備 県営ほ場整備参画事業 (P171)	322,468	事業に対する負担金 ・全18地区 区画整理工 304.6ha 暗渠工 56.5ha 揚水機場工 2箇所 実施設計 2地区

土地改良施設機能改善事業(P173)	3,190	事業に対する負担金 乙次地区排水路 L = 151m
農道等補修用原材料支給事業(P173)	14,414	農道や用排水路等の機能確保を図るため、土地改良区に対し、補修用原材料の費用を補助し、土地改良区の管理区域外に対しては、敷砂利、生コンクリート、などの二次製品を支給した。 ・補助団体 各土地改良区及び農家組合
県営下越中部地区広域営農団地農道整備参画事業(P173)	8,156	事業に対する負担金 ・湖南～上今泉地区上 表層工 L = 1,350m ・県道金塚停車場竹島線取付工事一式
農地・水・環境保全向上活動支援参画事業(P173)	12,704	農地、農業用水を守る為の維持管理作業（草刈、江ざらい、補修等）を行う活動組織への助成を行った。 ・活動組織数 24 組織 ・対象面積 1,134ha
むらづくり交付金事業(新発田東部地区)(P175)	39,406	農園・交流施設・駐車場整備 ・用地測量、用地購入 集落農園整備 A = 3,270 m <sup>2</sup> 交流施設整備 A = 3,935 m <sup>2</sup> 駐車場整備 A = 910 m <sup>2</sup> 農村公園整備 A = 3,091 m <sup>2</sup>
むらづくり交付金事業(加治川地区)(P175)	173,785	大樋・大野川水路設計委託 一式 大樋・大野川水路整備 L = 890m
地域資源を活用した農林水産業の振興 林道整備事業(P177)	3,001	林道新発田南部線改良 L = 18m
広域基幹林道新発田南部線開設参画事業(P177)	34,628	事業に対する負担金 ・中々山工区 開設 L = 63m 舗装 L = 80m ・荒川工区 開設 L = 70m 舗装 L = 280m
松塚漁港整備事業(繰越明許費分含む)(P179)	106,933	中央防波堤上部工 L = 88m 東護岸上部工 L = 55m 西護岸上部工 L = 113m 西防波堤上部工 L = 101m

災害復旧費	地域資源を活用した農林水産業の振興 (繰越明許費分) 林道施設災害復旧事業 (P271)	11,632	林道新発田南部線 2箇所
-------	---	--------	--------------

### 農業委員会事務局

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
農林水産業費	農業担い手の育成・支援 農業者年金事業(P159)	2,746	新農業者年金制度への加入促進と的確な経営移譲による年金受給者、担い手の育成を図り、農業者の老後の生活と農業経営の安定を推進した。 農業者年金被保険者数 224名 農業者年金受給者 1,549名
	イッキに担い手農地集積事業(P159)	476	認定農業者など、育成すべき経営体に農地を集積するため、一定の要件により農地の利用権の設定を行った。出し手農家に対して37件90,237㎡が補助金交付対象となり、農家に助成を行った。

### 地域整備部 地域整備課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
土木費	防犯・消費者保護対策の充実 街灯整備事業(P197)	7,226	通勤路・通学路を中心に街灯を設置し、夜間の通行の安全を図った。 防犯灯設置 36基
	利便性の高い居住環境の整備 バリアフリー歩道整備事業(P201)	4,043	市道中央町向中条線 視覚障害者誘導標示設置 L=325m
	効率的な道路網の整備 市道改良整備事業 (繰越明許費分含む) (P201)	425,394	安全で快適な生活環境を確保するため、市道の改良等を行った。 (合併建設計画道路整備事業を含む) 道路新設改良工事費 334,594千円 測量・設計等委託 28,391千円 事業用地購入 35,666千円 物件補償 26,743千円
	県営道路事業参画事業 (P201)	18,640	主要地方道住吉上館線、主要地方道新発田紫雲寺線ほか整備事業負担金

道整備交付金事業(P201)	154,011	市道中央町向中条線整備 L=740m 市道復旧1号線整備 L=840m 市道落堀川左岸線整備 L=400m
消雪施設新設事業(P201)	19,267	市道新富町島潟線 消雪パイプ設置 L=479m
私有・融雪施設整備支援事業(P201)	4,754	私有の舗装や側溝の新設及び消雪パイプ等融雪施設の整備に要する費用の一部を補助した。 ・私有及び融雪施設整備補助金 2/3 7件
新五十公野バイパス(太斉区間)建設事業(P201)	47,510	測量・設計等委託 L=1.89km 事業用地購入 A=4,415 m <sup>2</sup>
交通安全対策の充実 交通安全施設整備事業(P203)	15,934	市道東新町商高線(歩道整備) L=182m 防護柵設置 一式 区画線 市内一円
効率的な道路網の整備 市道橋りょう架替事業(線越明許費分含む)(P203)	68,074	東雲橋架替工事 上部工 1式 下部工 1式
防災体制の充実 線越明許費分 急傾斜地対策事業(P205)	5,796	崩壊防止(法枠工) L=21m
環境美化の推進 道路側溝清掃支援事業(P213)	2,600	道路側溝清掃の労力負担を軽減するため、地域で清掃業者に委託した事業費の一部を補助した。(1mあたり300円) 17件
効率的で質の高い上・下水道の整備 市街地雨水排水整備事業(P213)	51,743	洪水の防止と良好な住環境の創設に努めた。 藤塚浜地区雨水排水整備工事 L=161m 金塚駅前地区雨水排水整備工事 L=75m
排水路改築事業(P213)	2,784	宅地間等の排水路整備を行った団体に対して事業費の一部を補助した。 ・排水路改築工事補助金 2/3 4件

	防災体制の充実 水害防止対策事業(P213)	2,384	市街地の冠水箇所について、改善を図るための調査を実施した。 調査箇所 6箇所
--	---------------------------	-------	---

地域整備部 都市整備課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
土木費	総合的、計画的な土地利用の推進 新都市マスタープラン改訂事業 (繰越明許費分)(P207)	1,565	市町村合併及び市まちづくり総合計画の基本計画の見直しに併せ、将来の都市づくりの基本方針とするため、都市マスタープランの改訂を行った。 ・本編 1,800部 ・リーフレット 35,000枚(各戸配布)
	効率的な道路網の整備 県営街路事業 (本町中田町線)(P209)	36,819	県営事業に対する負担金 ・整備延長 L=510m ・用地買収、物件補償
	西新発田五十公野線整備事業(富塚工区) (繰越明許費分含む) (P209)	141,587	街路整備事業 ・整備延長 L=25m ・水路改良工 一式 ・用地買収 A=644.02 m <sup>2</sup> ・物件補償 8件
	西新発田五十公野線整備事業(緑町工区)(P209)	156,645	街路整備事業 ・家屋調査 一式 ・用地買収 A=760.46 m <sup>2</sup> ・物件補償 11件
	島潟荒町線整備事業(東新工区)(P209)	108,268	街路整備事業 ・家屋調査 一式 ・用地買収 A=824.21 m <sup>2</sup> ・物件補償 4件
	国道7号拡幅関連街路整備事業 (中曽根町西線)(P209)	2,133	街路整備事業 ・測量、設計 一式
	歴史・田園景観の保全と形成 まちなみ環境整備事業 (P211)	18,582	寺町・清水谷地区住民と協働により歴史的なまちなみの保存・再生や住みよい環境を創造するための住環境整備を行った。 ・照明灯設置 N=12基 ・ポンプ設置 N=1基

	効率的な道路網の整備 中央町緑町線整備事業 (繰越明許費分含む) (P213)	125,328	街路整備事業 ・整備延長 L=300m ・整備工事 L=300m ・用地買収 A=398.67 m <sup>2</sup> ・物件補償 4件
	自然とふれあう空間の創造 県立紫雲寺記念公園整備 事業(P215)	21,975	新潟県が実施する県立紫雲寺記念公園整備事業の一部を負担し、整備促進を図った。

#### 地域整備部 新発田駅周辺整備課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
土木費	中心市街地の整備 新発田駅前土地区画整理 事業 (繰越明許費分含む) (P211)	1,149,322	新発田駅前及び中心市街地の活性化を図るため、下記の事業を実施した。 ・事業管理・補償積算 一式 ・道路築造工事 L=149m ・駅前広場整備工事 一式 ・アーケード・バルコニー-建築工事 L=542m ・駅前駐輪場整備工事 N=706台 ・電線共同溝整備工事 L=259m ・公園整備工事 修景施設 A=425 m <sup>2</sup> 便益施設 一式 ・宅地造成工事 A=0.8ha ・物件補償 23件
	新発田駅周辺整備事業 (P211)	14,419	新発田駅周辺のバリアフリー化を基本とした整備計画の策定に向けて、新発田駅周辺整備検討委員会の意見を伺いながら、整備方針・手法等の検討を行った。

#### 地域整備部 建築課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	効率的・効果的な行政運営 公共施設維持管理事業 (P81)	115,184	基準値を超えるアスベストを使用している施設について、年次計画に基づき除去等の対策工事を実施した。また、市長部局の施設における維持補修に係る請負工事費を建築課で一括管理し、効率的・効果的に補修工事を実施した。 アスベスト対策工事実施施設 10施設 施設補修実施施設 36施設
土木費	歴史・田園景観の保全と形成 景観計画策定事業(P205)	1,589	良好で、新発田らしい景観形成を図るため、景観法に基づく景観計画の策定と景観条

	<p>防災体制の充実 新 木造住宅耐震診断支援事業(P207)</p>	1,990	<p>例の制定を行った。 住民説明会の開催 17回 市民 248名 各種団体説明・協議等 6団体 新発田市景観協議会の開催 1回 しばた街並みウォッチング&amp;シンポジウムの開催( (社)日本建築家協会と共催) 市民等 242名</p> <p>地震に強いまちづくりを推進するため、新耐震基準でない(昭和56年5月30日以前に建てられた)木造住宅の耐震診断に要した費用の一部について補助金を交付した。</p> <p>住宅の延べ床面積</p> <table> <tr> <td>70㎡超～175㎡以下</td> <td>22件</td> </tr> <tr> <td>175㎡超</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>27件</td> </tr> </table>	70㎡超～175㎡以下	22件	175㎡超	5件	計	27件
70㎡超～175㎡以下	22件								
175㎡超	5件								
計	27件								

**上下水道部 下水道課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
土木費	<p>効率的で質の高い上・下水道の整備 下水道排水設備設置貸付事業(P207)</p>	5,317	<p>制度融資により、公共下水道供用開始区域内の水洗化促進を図った。 今年度融資実行件数 8件</p>
	<p>自然災害防止事業 (繰越明許費分含む) (P213)</p>	63,130	<p>田所町雨水幹線整備工事 L=958m</p>

**教育部 教育総務課**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	<p>就学支援の充実 新発田中央高等学校教育振興関係事業支援事業(P225)</p>	4,460	<p>教育費の保護者負担の軽減と私学の教育環境整備のため、新発田中央高等学校に対し、市内在住の生徒1人当たり10千円の補助金を支出した。</p>
	<p>小学校遠征費支援事業(P231)</p>	1,243	<p>児童の能力育成・人間形成を促すため、学校代表として県大会以上の各種大会に出場する児童の交通費・宿泊費・参加費を補助(県大会以上の大会は経費の1/2、全国大会は経費の全額)した。</p>
	<p>小学校教育扶助事業(P233)</p>	52,233	<p>経済的理由により義務教育を受けることが困難な児童の保護者及び特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、就学に必要な</p>

			<p>経費（学用品費、給食費等）を補助した。</p> <p>生徒の能力育成・人間形成を促すため、学校代表として県大会以上の各種大会に出場する生徒の交通費・宿泊費・参加費を補助(県大会以上の大会は経費の1/2、全国大会は経費の全額)した。</p>
	中学校遠征費支援事業 (P237)	3,326	
	中学校教育扶助事業 (P239)	45,884	<p>経済的理由により義務教育を受けることが困難な生徒の保護者及び特別支援学級に在籍する児童の保護者に対し、就学に必要な経費（学用品費、給食費等）を補助した。</p>
	教育環境の整備 小学校施設整備事業 (P235)	53,301	<p>小学校校舎体育館等の施設設備の補修・整備を行い、教育環境の向上を図った。</p>
	加治川統合小学校建設事業 (P235)	1,137,501	<p>加治川地区の3小学校を統合し、新たに小学校を建設した。平成18年度に引き続き19年度に校舎を建設した。平成19年度は他に屋内体育館の建設、道路整備などを実施した。</p> <p>建築面積 校舎・屋内体育館計 6,181 m<sup>2</sup></p>
	荒橋小学校プール改築事業 (P235)	100,144	<p>老朽化の進んだ荒橋小学校のプールを改築した。平成18年度の実施設計を受け、改築工事を実施した。改築は既存プールを撤去し、新たにプールを建設した。</p> <p>プール水面積 250 m<sup>2</sup></p>
	中学校施設整備事業 (P239)	25,691	<p>中学校校舎体育館等の施設設備の補修整備を行い、教育環境の向上を図った。</p>
	豊浦中学校大規模改造事業 (P239)	90,538	<p>平成18年度に実施した校舎の耐震補強工事・老朽改修工事に引き続き、屋内体育館の耐震補強工事及び老朽改修工事を行った。</p> <p>実施面積 屋内体育館 2,016 m<sup>2</sup></p>
	紫雲寺中学校改築事業 (P239)	27,668	<p>紫雲寺中学校を改築するための実施設計を行った。</p>
	東中学校大規模改造事業 (P239)	9,510	<p>東中学校の校舎・屋内体育館の耐震補強工事及び老朽改修工事のための実施設計を行った。</p>

教育部 学校教育課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	地域教育力を活かした創意ある教育活動の推進 小中学校・幼稚園教諭指導推進事業(P223)	8,377	指導主事が計画的に学校を訪問し学習指導・生徒指導を行い、学校教職員・保護者に対して相談を実施した。
	三市北蒲原郡地区理科教育センター運営事業(P223)	3,317	三市北蒲原郡地区理科教育センター運営に係る費用を負担した。
	新 日本語教育推進事業(P225)	5,626	日本人が大切にしてきた心や礼儀等について考え心を豊かにする、学習を目指すためモデル校を指定し研究を進めた。(モデル校小学校2校、中学校1校)
	小学校教育運営事業(P229)	41,540	小学校特別支援学級及び通常学校に在籍する介助の必要な児童に対し介助員を配置、また、外国から転入してきた児童に対し日本語指導員を配置し、円滑な学級運営を図った。(介助員41名雇用) 新規に新潟っ子スキー体験事業を3校で実施した。
	小学校補助教員派遣事業(P233)	16,096	複式学級のある小規模校及び特別に配慮を要する児童生徒を抱え、授業の成立しにくい学校に教職員の補助的役割を担う補助教員を派遣し、指導力強化を図った。 また、全小学校へALT(英語指導助手)を派遣し、子どもたちの国際理解やコミュニケーション能力の向上を図った。(3名雇用)
	中学校教育運営事業(P235)	7,436	中学校特別支援学級及び通常学校に在籍する介助の必要な生徒に対し介助員を配置し、円滑な学級運営を図った。(7名雇用)
	中学校補助教員派遣事業(P237)	7,767	学校の現状に応じて教員免許を有する人材を雇用し教員の補助的な役割を担うよう配置した。(5名雇用)
	中学校英語指導助手活用事業(P237)	18,926	外国人による英語指導助手を3名配置し、中学校等における英語教育の充実と国際理解教育を推進した。
	心豊かな子どもの育成 サポートネットワーク事	13,329	問題行動等を起こしている個々の児童生

	<p>業(P225)</p> <p>食とみどりの新発田っ子プラン推進事業(P225)</p> <p>小学校情操教育推進事業(みどりの新発田っ子プラン)(P233)</p> <p>不登校児童生徒適応指導教室運営事業(さわやかルーム)(P233)</p> <p>中学校情操教育推進事業(みどりの新発田っ子プラン)(P239)</p> <p>学校給食地産地消導入事業(P267)</p> <p>給食残さ堆肥化モデル事業(P269)</p> <p>学校給食調理場施設整備事業(P269)</p>	<p>4,125</p> <p>13,323</p> <p>11,150</p> <p>5,950</p> <p>7,080</p> <p>2,835</p> <p>78,719</p>	<p>徒について、指導員が学校を訪問し児童生徒に対する指導・支援を行った。</p> <p>市内小学校2校、中学校1校をモデル校に指定し、保護者や地域住民の協力を得て各校が取り組む食育の支援をした。 また、食育の家庭啓発用のパンフレットを作成し児童・生徒の保護者へ配布するとともに、食育推進手引書を作成し、各学校へ配布した。</p> <p>市内全小学校26校を対象に、保護者や地域住民の協力を得て、各校の特徴を生かし、子どもたちの豊かな情操を育む教育を支援した。</p> <p>小中学校の不登校児童生徒の問題解決を図る目的で、適応指導教室の運営及び訪問指導を行った。</p> <p>市内全中学校及び適応指導教室を対象に、保護者や地域住民の協力を得て、各校の特徴を生かし、子どもたちの豊かな情操を育む教育を支援した。 中学校10校 5,800千円 適応指導教室2箇所 150千円</p> <p>学校給食への地場産のコシヒカリ及び野菜の導入を基に食育の充実を図った。 コシヒカリ市補助金 1,030千円 青果物分 6,050千円</p> <p>給食食べ残しゼロを目標に、現在生じている給食残さについて、堆肥センターに運搬、再資源化を図った。</p> <p>北共同調理場等の改修を行い、既存調理場の施設整備を進め、調理場機能の向上を図った。 ・北共同調理場廃水処理施設増強建築工事 14,700千円 ・北共同調理場廃水処理施設増強機械設備工事 19,950千円 等</p>
--	---	---	--

教育部 生涯学習課

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	就学支援の充実 奨学金貸付事業(P227)	2,220	合併3町村で実施していた奨学金制度の利用者に対し貸付を行った。 貸付実績 6名
	歴史遺産の保全と活用 新発田城公開事業(P245)	2,618	表門・旧二の丸隅櫓・辰巳櫓の一般公開、城内の維持管理を行った。 入場者数 43,211名 公開日数 244日
	新発田市指定文化財保存 修理支援事業(P245)	3,000	泉町台輪、両町台輪、四之町台輪、上町台輪、下町台輪、職人町獅子舞、宝光寺山門の保存修理事業に対し、補助金を交付した。
	五十公野御茶屋公開事業 (P245)	4,271	一般公開及び樹木の剪定、中島の松の樹勢回復を行った。 入場者数 3,381名 公開日数 211日
	埋蔵文化財発掘調査事業 (P245)	50,314	開発地の遺跡について事前に発掘調査を行い、記録を残すとともに発掘調査報告書の作成、出土品の保存と活用を行った。(調査実績:本発掘調査3遺跡、確認調査8遺跡・試掘調査1地点・整理報告書作成5遺跡)
	生涯スポーツ・レクリエーション環境の整備 生涯スポーツ活動推進事業(P263)	5,523	生涯スポーツ活動のより一層の普及促進を図るため、各種スポーツ大会等を開催した。 日韓親善スポーツ交流大会参加者 101名 各種スポーツ大会等参加者 1,630名
	新発田市体育協会支援事業(P263)	4,495	市民へのスポーツの普及振興と加盟競技団体の競技力向上、スポーツ少年団の育成推進のため、本市の総合体育団体である体育協会の運営費に対し補助を行った。

教育部 中央公民館

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	生涯学習の機会と場の提供 成人式開催事業(P249)	1,913	3月16日、市民文化会館で午前と午後の2回に分けて実施。 対象者1,257人、参加者1,052人

**教育部 市民文化会館**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	生涯学習の機会と場の提供 市民文化会館教育鑑賞事業 (P251)	10,582	優れた舞台芸術を提供し、幅広い芸術文化活動の向上と鑑賞の場を提供した。 ・実施事業数 5事業 ・入場者数 11,850名
	市民に支えられた魅力ある伝統文化の継承と地域文化の創造 全国花嫁人形合唱コンクール 運営事業(P257)	3,860	合唱コンクールの前段として合唱フェスティバルも併せて開催し、新発田を全国に向けて発信することに努めた。 ・合唱コンクール 19団体参加 (県内8団体、県外11団体) ・合唱フェスティバル 2団体参加 ・入場者数 807名

**教育部 生涯学習センター**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	生涯学習の機会と場の提供 パソコン講座開催事業 (P257)	1,947	IT社会に適應できる人材の育成、生きがいづくりのためのパソコン講座を開催した。 67回開催、延べ580人受講

**教育部 図書館**

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
教育費	生涯学習の機会と場の提供 ○図書館事業(P259)	40,881	生涯学習施設としての機能を果たすため、市民の要望に沿った図書資料及び視聴覚資料を購入し、充実を図った。 来館者数 179,089人 内利用者数 68,604人 貸出冊数 237,957冊 資料購入 図書資料 5,171冊 CD 57枚 ビデオ等 58巻 マイクロフィルム 24巻
	○図書館分館運営事業 (P261)	4,109	地区分館に図書を購入・配本し、生涯学習の場と機会を地域に提供した。

教育部 青少年健全育成センター

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
民生費	家庭と地域におけるひとつぐりの推進 少年補導センター運営事業(P137)	1,141	青少年が集まりやすい場所を重点的に街頭補導活動、特別補導活動を実施した。 実施回数：170回
	児童センター活動事業(P137)	9,577	児童センター及び分館(児童館)において、親子であそぼ、サタデーチャレンジクラブ、児童文化普及事業等を実施し、遊びの指導及び体力増進を図った。
	児童クラブ運営事業(P137)	47,479	市内12クラブで保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校低学年児童等に適切な遊びや生活の場を設け、健全育成を図った。 登録児童年平均：753名

## 2 土地取得事業特別会計

平成19年度決算は、歳入歳出決算額で79,709千円となりました。

### 企画政策部 財務課

(単位：千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
土地取得事業費	効率的・効果的な行政運営 土地取得事業(P11)	56,777	公共用又は公共の利益のために必要な土地を先行取得することにより、土地利用の円滑化を図った。
土地開発基金償還金	事業管理等に要する一般経費 土地開発基金償還金(P11)	22,355	基金で対応した土地を売却したことにより、その売却額を基金へ償還した。

## 3 公共用地先行取得事業特別会計

平成19年度決算は、歳入歳出決算額で7,097千円となりました。

### 地域整備部 都市整備課

(単位：千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
公債費	事業管理等に要する一般経費 元金(P25)	6,938	城北町街路代替用地として取得した用地の市債償還金

## 4 国民健康保険事業特別会計

(事業勘定)

平成19年度決算は、歳入決算額で10,070,990千円、歳出決算額で9,715,169千円となり、差し引きで355,821千円の黒字決算となりました。

### 健康福祉部 保険年金課

(単位：千円)

	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	医療保険の安定運営 保険税収納率向上特別対策事業(P53)	5,044	保険税の収納率向上のため、専門の嘱託員による滞納世帯訪問、制度説明、納税相談を実施した。

保険給付費	医療保険の安定運営 一般被保険者医療費給付事業（現物給付）（P55）	3,305,340	一般被保険者の診療費に係る法定給付を行った。
	退職被保険者医療費給付事業（現物給付）（P55）	2,231,632	退職被保険者の診療費に係る法定給付を行った。
	一般被保険者医療費支給事業（現金支給）（P55）	20,046	一般被保険者の治療用装具費等の法定額を支給した。
	退職被保険者医療費支給事業（現金支給）（P55）	16,297	退職被保険者の治療用装具費等の法定額を支給した。
	一般被保険者高額医療費支給事業（P55）	337,610	一般被保険者の医療費が高額になった場合に、自己負担額限度額（所得に応じた区分あり）を超えた部分について支給した。
	退職被保険者高額医療費支給事業（P55）	125,572	退職被保険者の医療費が高額になった場合に、自己負担額限度額（所得に応じた区分あり）を超えた部分について支給した。
	出産育児一時金支給事業（P57）	29,400	被保険者が出産した場合に支給した。 1件 350千円×84件
	葬祭費支給事業（P57）	38,240	被保険者が亡くなった場合に、葬祭を行った人に支給した。 1件 50千円×764件 1件 40千円×1件
老人保健 拠出金	事業管理等に要する一般経費 老人保健医療費拠出金（P57）	1,171,705	老人保健該当者の医療費として社会保険診療報酬支払基金へ拠出した。
	老人保健事務費拠出金（P57）	31,652	老人保健該当者の医療事務費として社会保険診療報酬支払基金へ拠出した。
介護納付金	事業管理等に要する一般経費 介護納付金（P59）	553,146	介護保険第2号に該当する被保険者の介護保険料分として社会保険診療報酬支払基金へ納付した。
共同事業 拠出金	事業管理等に要する一般経費 共同事業医療費拠出金（P59）	123,586	国保連合会が事業主体としてレセプト1件80万円を超える医療費の59%を当該市町

保健事業費	保険財政共同安定化事業 (P59)	880,950	村に交付する高額医療費共同事業に対し、拠出金を支払った。  国保連合会が事業主体としてレセプト1件30万円を超えた場合に8万円から80万円(80万円以上は高額医療費共同事業で交付)までの医療費の59%を当該市町村に交付する保険財政共同安定化事業に対し、拠出金を支払った。
	医療保険の安定運営 国保保健事業(P59)	4,675	エイズ予防パンフレット配布 ・市内中学生(3年生のみ)、高校生、敬和学園大学、新潟職業能力開発短期大学校に配布 ・健康づくりフェスティバルで配布 年4回医療費の支払額を通知 1回平均 12,326世帯
	疾病予防事業(P59)	72,599	人間ドック健診及び肺がん検診・骨粗しょう症検診を実施 人間ドック健診 3,070人 肺がん検診 607人 骨粗しょう症検診 164人
	新 特定健診・特定保健指導事業(P61)	2,780	特定健康診査等実施計画策定 特定健康診査案内通知発送 19,587人

健康福祉部 健康推進課

(単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
保健事業費	医療保険の安定運営 国保保健指導事業(P59)	2,317	国保被保険者に訪問による保健指導を行った。 延べ訪問者数 1,211人
	新 国保ヘルスアップ事業 (P59)	7,777	国保被保険者に生活習慣改善に向けた「個別支援プログラム」を実施した。 実施者数 105人

## (施設勘定)

平成19年度決算は、歳入決算額で60,444千円、歳出決算額で57,302千円となり、差し引きで3,142千円の黒字決算となりました。

### 健康福祉部 保険年金課

(単位：千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	事業管理等に要する一般経費 一般管理費(P79)	12,794	パート職員雇用、医療事務委託、施設維持管理委託等を行った。
医薬費	事業管理等に要する一般経費 医薬品衛生材料費(P81)	7,014	医薬で処方する医薬品を購入した。

## 5 老人保健特別会計

平成19年度決算は、歳入決算額で8,532,746千円、歳出決算額で8,467,880千円となり、差し引きで64,866千円の黒字決算となりました。

### 健康福祉部 高齢福祉課

(単位：千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	医療保険の安定運営 受給者資格審査事業 (P101)	5,799	適正な医療給付を行うため、老人保健受給者の医療保険資格や負担区分等の管理を行った。
	医療費通知事業(P101)	3,499	老人保健受給者の加入する医療保険の各保険者に対して、医療給付に要する経費の通知を行った。
	医療費適正化推進事業 (P101)	19,932	レセプト(診療報酬明細書)の点検を行い、不適切な医療給付の防止を図った。
医療諸費	医療保険の安定運営 医療費給付事業(現物給付) (P101)	7,903,676	診療費に係る医療の給付を行い、高齢者の健康保持を図った。
	医療費支給事業(現金支給) (P101)	106,169	治療用装具費等に係る医療の給付を行い、高齢者の健康保持を図った。
	レセプト審査支払事業 (P103)	42,360	医療給付等に係る審査及び支払い手数料に要する経費の支払いを行った。

## 6 介護保険事業特別会計

平成19年度決算は、歳入決算額で6,216,391千円、歳出決算額で6,155,140千円となり、差し引きで61,251千円の黒字決算となりました。

### 健康福祉部 高齢福祉課

(単位：千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務管理費	介護保険・介護予防の推進 運営協議会運営事業 (P125)	117	介護保険事業の運営に関する重要事項を調査審議した。
	認定調査事業(P125)	45,282	介護認定申請者に対して、自宅又は病院・施設等へ訪問し認定調査を行った。 調査件数 4,575件
	賦課徴収事業(P127)	5,802	1号(65歳以上)被保険者の介護保険料の賦課徴収を行った。 納入通知書発送数 54,086件
	介護認定審査会参画事業 (P127)	24,083	介護認定審査会を広域事務組合に共同設置し、それに対する新発田市分の負担金を支払った。
	趣旨普及事業(P127)	369	介護保険事業の趣旨普及を行った。
保険給付費	介護保険・介護予防の推進 居宅介護サービス給付費 給付事業(P127)	1,783,664	要介護度1~5までの要介護認定者が利用した訪問介護等の居宅介護サービス費を給付した。 給付件数 36,786件
	地域密着型介護サービス 給付費給付事業(P127)	301,154	要介護1~5までの要介護度認定者が利用した地域密着型介護サービス費を給付した。 給付件数 1,544件
	施設介護サービス給付費 給付事業(P127)	2,649,475	特別養護老人ホーム、老人保健施設等の利用に対する施設サービス費を給付した。 給付件数 10,656件
	居宅介護福祉用具購入費 給付事業(P129)	3,977	要介護度1~5までの要介護認定者が購入した福祉用具費を給付した。 給付件数 200件
	居宅介護住宅改修費給付 事業(P129)	13,338	要介護度1~5までの要介護認定者が行った住宅改修費を給付した。 給付件数 136件

	居宅介護サービス計画給付費給付事業(P129)	191,546	要介護度1~5までの要介護認定者に対する居宅介護サービス計画費を給付した。 給付件数 16,619件
	介護予防サービス給付費給付事業(P129)	272,262	要支援1・2の認定者が利用した訪問介護等の居宅介護サービス費を給付した。 給付件数 11,063件
	地域密着型介護予防サービス給付費給付事業(P129)	9,263	要支援1・2の認定者が利用した地域密着型介護予防サービス費を給付した 給付件数 88件
	介護予防福祉用具購入費給付事業(P129)	2,230	要支援1・2の認定者が購入した福祉用具費を給付した。 給付件数 132件
	介護予防住宅改修費給付事業(P129)	9,892	要支援1・2の認定者が行った住宅改修費を給付した。 給付件数 103件
	介護予防サービス計画給付費給付事業(P129)	33,390	要支援1・2の認定者に対する居宅介護サービス計画費を給付した。 給付計画件数 8,062件
	給付審査支払事業(P131)	8,054	国保連合会へ給付審査支払手数料を支払った。 審査支払件数 84,871件
	高額介護サービス費給付事業(P131)	73,848	利用者負担金のうち一定の限度額を超えた場合に支払う高額サービス費を支給した。 給付件数 7,607件
	特定入所者介護サービス費給付事業(P131)	238,657	要介護度1~5までの要介護認定者の施設利用に対し、食費・居住費の基準費用額と負担限度額の差額分を給付した。 給付件数 9,938件
	特定入所者介護予防サービス費給付事業(P131)	376	要支援1・2の認定者の施設利用に対し、食費・居住費の基準費用額と負担限度額の差額分を給付した。 給付件数 104件
地域支援事業費	介護保険・介護予防の推進 特定高齢者把握事業(P131)	1,159	介護予防特定高齢者施策の対象となる特定高齢者を把握した。 把握件数 1,091件

通所型介護予防事業 (P131)	14,064	<p>特定高齢者に対し、介護予防を目的として運動器の機能向上事業、栄養改善事業、口腔機能の向上事業等を実施した。</p> <p>運動器の機能向上 412回 延1,907人          栄養改善 33回 延34人          口腔機能の向上 161回 延596人</p>
地域介護予防活動支援事業 (P133)	999	<p>地域において介護予防が定期的かつ継続的に実施できる教室を開催した。</p> <p>忘れん・転ばん塾 46回 延584人          転ばん教室 35回 延722人          忘れん・転ばんサポーター研修会 70回 延199人          忘れん・転ばんサポーター活動 41回 延81人</p>
地域包括支援センター運営事業 (P133)	64,749	<p>地域包括支援センターで、介護予防マネジメント事業、総合相談・支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的マネジメント事業を行った。</p> <p>予防ケアプラン作成数 276件          総合相談件数 4,085件          権利擁護相談件数 113件          地域ケア会議開催数 59回          介護支援専門員に対する研修等 29回</p>
高齢者福祉の推進 成年後見制度利用支援事業 (P133)	103	<p>老人福祉法による成年後見人等の審判開始の申立てを行い、低所得の高齢者に対し経費の助成を行った。</p> <p>支援件数 1件</p>
介護保険・介護予防の推進 介護相談員派遣事業 (P133)	1,932	<p>介護相談員が介護保険施設（10施設）を訪問し、利用者の声を聞き、疑問や不満・不安などの解消に努めるとともに、それらを施設側に伝えることでよりよいサービスの提供を図った。</p> <p>訪問回数 153回 相談件数 369件</p>
寝たきり高齢者紙おむつ 助成事業(P133)	21,421	<p>清潔で心地よい生活を確保するとともに、家族の身体的・経済的負担の軽減と福祉の向上を図った。</p> <p>紙おむつ購入助成券利用者 1,048人</p>
高齢者食の自立支援事業 (P135)	3,145	<p>介護認定を受けた65歳以上の単身又は高齢者のみの世帯で、調理が困難な87人にバ</p>

	地域包括支援センター運営事業（単独分）(P135)	4,361	<p>ランスのとれた食事を提供し、併せて安否の確認を行った。</p> <p>地域包括支援センターで、介護予防マネジメント事業、総合相談・支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的マネジメント事業を行った。</p> <p>予防ケアプラン作成数 276 件  総合相談件数 4,085 件  権利擁護相談件数 113 件  地域ケア会議開催数 59 回  介護支援専門員に対する研修等 29 回</p>
--	---------------------------	-------	---

**健康福祉部 健康推進課**

（単位：千円）

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
地域支援事業費	介護保険・介護予防の推進 高齢者保健活動事業 (P133)	1,308	<p>介護予防（生活習慣病）に関する知識の啓発普及・保健指導を実施した。</p> <p>延べ保健指導者数 6,208 人  延べ訪問指導者数 494 人</p>

## 7 簡易水道事業特別会計

平成19年度決算は、歳入歳出決算額で224,802千円となりました。

**水道局 浄水課**

（単位：千円）

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
事業費	効率的で質の高い上・下水道の整備 簡易水道配水事業(P153)	19,580	<p>上赤谷、滝谷新田、中々山及び板山地区簡易水道の運転管理と維持管理を行った。</p> <p>給水人口 : 1,559 人  年間配水量 : 136,272 m<sup>3</sup></p>
	山内地区簡易水道整備事業(P153)	85,806	<p>平成21年度給水開始を目指し整備工事を実施した。</p> <p>取水施設：第一、第二水源取水ポンプ設置  浄水施設：非常用自家発電設備一式、第二水源構内整備一式、電気計装設備一式  導・配水管設備： 50～75 847m</p>
	小戸・上車野地区簡易水道整備事業(P153)	7,331	<p>平成24年度給水開始を目指し簡易水道事業経営変更認可申請と水源用地を購入した。</p>

	滝谷新田地区簡易水道施設改良事業(P153)	85,386	水源用地購入：439.2 m <sup>2</sup> 色度及び濁度を処理する装置を設置する工事を実施した。 浄水施設：前処理棟一棟、凝集沈澱設備一式、電気計装設備一式、薬品注入設備一式
--	------------------------	--------	---

## 8 農業集落排水事業特別会計

平成19年度決算は、歳入決算額で983,143千円、歳出決算額で982,097千円となり、差し引きで1,046千円の黒字決算となりました。

### 上下水道部 下水道課

(単位：千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
管理費	効率的で質の高い上・下水道の整備 農業集落排水施設維持管理事業(P173)	87,206	供用区域内の施設の維持管理 供用処理区 11 処理区
	農業集落排水施設使用料賦課・徴収事業(P173)	3,857	使用料徴収委託、使用料徴収システム改修委託等
事業費	効率的で質の高い上・下水道の整備 農業集落排水施設台帳整備事業(P175)	1,470	農業集落排水施設台帳作成委託
	三光地区農業集落排水施設整備事業(P175)	21,511	一般補助事業 ・舗装復旧工事 A=4,653 m <sup>2</sup>
	福島地区農業集落排水施設整備事業(P175)	134,739	一般補助事業 ・実施設計 L=1,053m ・管路施設工事 L=1,053m
	住田地区農業集落排水施設整備事業(P175)	327,548	一般補助事業 ・実施設計 L=1,670m ・管路施設工事 L=1,670m
	宮古木地区農業集落排水施設整備事業(P175)	44,916	一般補助事業 ・測量、調査、管路設計業務 (路線、測量、地質調査、管路設計 L=12,203m) ・管路施設工事 L = 222m

## 9 下水道事業特別会計

平成19年度決算は、歳入決算額で5,075,313千円、歳出決算額で5,029,468千円となり、差し引きで45,845千円の黒字決算となりました。

### 上下水道部 下水道課

(単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
事業費	効率的で質の高い上・下水道の整備		阿賀野川流域下水道(新井郷川処理区)及び特定環境保全公共下水道(月岡・紫雲寺・加治川地区)事業他の推進により、新発田川等の公共水域の水質保全及び快適な生活環境の整備に努めた。
	中条浄化センター建設参画事業(P199)	114,126	中条浄化センター建設負担金
	阿賀野川流域下水道(新井郷川処理区)建設参画事業(P201)	158,726	阿賀野川流域下水道(新井郷川処理区)建設事業負担金
	新発田地区下水道整備事業(P201)	1,277,986	一般補助事業・単独事業 ・詳細設計 L= 7,387m ・地質調査 1箇所 ・新発田中央処理分区管渠工事 150~200 L= 907m ・新発田東部処理分区管渠工事 100~250 L= 4,059m ・新発田北部処理分区管渠工事 150~800 L= 2,194m ・舗装復旧工事 A=13,070 m <sup>2</sup> ・ガスパイプ移設補償 12件 ・水道管移設補償 10件
	豊浦地区下水道整備事業(P201)	543,116	一般補助事業・単独事業 公共下水道 ・豊浦南部第1処理分区管渠工事 150~200 L= 585m ・豊浦北部第4処理分区管渠工事 150~250 L= 1,948m ・詳細設計 L= 150m ・ガスパイプ移設補償 5件 ・水道管移設補償 9件 ・マンホールポンプ設置工事 1箇所 ・舗装復旧工事 A= 2,476 m <sup>2</sup>  特定環境保全公共下水道

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンホール改築詳細設計 躯体 6基、蓋 14個</li> <li>・月岡浄化センター実施設計 一式</li> <li>・マンホール防食工事 5基</li> </ul>
紫雲寺地区下水道整備事業(P201)	243,606	一般補助事業・単独事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫雲寺本町処理分区管渠工事 75～400 L= 853m</li> <li>・紫雲寺本町中継ポンプ場建設(建築)工事 一式</li> <li>・舗装復旧工事 A= 3,893 m<sup>2</sup></li> <li>・水道管移設補償 1件</li> </ul>
加治川地区下水道整備事業(P201)	366,304	一般補助事業・単独事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加治川処理区管渠工事 100～250 L= 2,158m</li> <li>・舗装復旧工事 A= 5,608 m<sup>2</sup></li> <li>・水道管移設補償 2件</li> </ul>
公共下水道(雨水)整備事業(P201)	4,132	一般補助事業(浸水対策)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新田川1号雨水幹線付帯工事等一式</li> <li>・ガス管移設補償 1件</li> </ul>
<繰越明許費分>			
新発田地区下水道整備事業(P201)	484,608	一般補助事業・単独事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新発田東部処理分区管渠工事 150～350 L= 2,476m</li> <li>・新発田中央処理分区管渠工事 150～200 L= 2,690m</li> <li>・舗装復旧工事 A= 1,547 m<sup>2</sup></li> </ul>
豊浦地区下水道整備事業(P201)	81,363	一般補助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊浦北部第4処理分区管渠工事 150～200 L= 1,046m</li> <li>・舗装復旧工事 A= 1,079 m<sup>2</sup></li> </ul>
紫雲寺地区下水道整備事業(P201)	190,799	一般補助事業・単独事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紫雲寺本町処理分区管渠工事 150～400 L= 2,638m</li> <li>・紫雲寺本町中継ポンプ場建設(土木)工事 ポンプ場本体築造工 一式</li> </ul>
加治川地区下水道整備事業(P201)	61,677	一般補助事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加治川処理分区管渠工事 150～200 L= 149m</li> <li>・大井川水管橋設置工事 150 L= 66.9m</li> </ul>

	公共下水道（雨水）整備事業(P201)	55,883	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンホールポンプ設置工事 1箇所</li> <li>・舗装復旧工事 A= 589 m<sup>2</sup></li> </ul> 一般補助事業（雨水対策） <ul style="list-style-type: none"> <li>・新井田川1号雨水幹線整備工事 L= 160m</li> </ul> 一般補助事業（都市水環境整備事業） <ul style="list-style-type: none"> <li>・新井田川1号雨水幹線整備工事（鉄平石模様） L= 100m</li> </ul>
--	---------------------	--------	--

## 10 宅地造成事業特別会計

平成19年度決算は、歳入決算額で268,530千円、歳出決算額で407,346千円となり、差し引きで138,816千円の赤字決算となりました。

### 地域整備部 都市整備課

（単位：千円）

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
宅地造成事業	利便性の高い居住環境の整備 宅地造成事業(P217)	20,783	本会計で所有している財産の維持管理費、用地取得費及び造成工事費
	荒町宅地造成事業(P217)	215,584	本会計で所有している財産の維持管理費、及び元利償還金の用地取得費
前年度繰上充用金	事業管理等に要する一般経費 前年度繰上充用金(P 217)	170,589	前年度赤字決算に係る繰上充用

## 1 1 西部工業団地造成事業特別会計

平成19年度決算は、歳入決算額で426,691千円、歳出決算額で2,025,539千円となり、差し引きで1,598,848千円の赤字決算となりました。

### 産業振興部 商工振興課

(単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
事業費	経営・産業基盤の充実強化 西部工業団地管理・販売 促進事業(P231)	5,114	工業振興と雇用の拡大、若者の定着を図るため、西部工業団地の早期完売を目指し、企業誘致活動を行った。 販売実績 6件 18,349㎡
前年度繰上充用金	前年度繰上充用金(P231)	2,020,425	前年度赤字決算に係る繰上充用

## 1 2 駐車場事業特別会計

平成19年度決算は、歳入歳出決算額で26,738千円となりました。

### 市民生活部 地域安全課

(単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
駐車場事業費	交通安全対策の充実 市営駐車場維持管理事業 (P245)	1,019	市営中央パーキングの維持管理を行い、定期利用者の確保に努めた。
前年度繰上充用金	事業管理等に要する一般経費 前年度繰上充用金(P245)	25,719	前年度赤字決算に係る繰上充用

## 1 3 コミュニティバス事業特別会計

平成19年度決算は、歳入歳出決算額で78,781千円となりました。

### 市民生活部 公共交通対策課

(単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
事業費	公共交通ネットワークの構築 コミュニティバス運行事業(P261)	77,785	コミュニティバス運行事業 菅谷、加治地区において、地元のNPO法人七葉に運転業務を委託して運行を行った。 運行本数 平日 37本

			<p>(うち市街地循環4本) 土休日 17本 (うち市街地循環2本) 乗車人数 一般乗車 55,912人 スクールバス及び保育園バス 85,492人</p> <p>市街地循環バス実証運行事業 中心市街地の活性化と市民生活の利便向上のため、国土交通省の活性化プログラムに沿った市街地循環バスの実証実験運行を行った。</p> <p>委託先 新潟交通観光バス株式会社 運行本数 右回り 11本/日 左回り 11本/日 乗車人数 98,865人</p>
--	--	--	--

## 14 藤塚浜財産区特別会計

平成19年度決算は、歳入決算額で23,514千円、歳出決算額で19,248千円となり、差し引きで4,266千円の黒字決算となりました。

### 総務部 総務課

(単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
総務費	事業管理等に要する一般経費 財産管理費(P275)	3,009	財産区有地の良好な維持管理のため、下草刈り、ため池の浚渫等を実施した。
地域振興費	地域振興事業費(P275)	5,000	伝統芸能保存事業等の地域振興事業に対する助成を実施した。

## 15 水道事業会計

平成19年度決算は、収益的収支(税抜額)の収入で、1,878,192千円(前年度比1.0%減) 支出では、1,846,826千円(前年度比0.6%増)となり、損益で31,366千円(前年度比50.0%減)の純利益となった。資本的収支(税込額)の収入で768,774千円(前年度比26.5%減) 支出では、1,532,636千円(前年度比16.7%減)となり、763,862千円の収入不足は、積立金等で補てんした。

(単位:千円)

款	施策・事務事業	決算額	成果説明
水道事業費	効率的で質の高い上下水道の整備 鉛給水管入替事業	6,510	公道分の鉛給水管入替工事を実施した。 18箇所
資本的支出	第5期拡張事業 (配水管布設費) (実施設計委託料) (用地費)	289,183 (276,074) (12,355) (754)	未普及地域解消の第5期拡張事業を進めた。 15件 30~200 L=5,156m 実施設計委託 一式 上石川地区増圧ポンプ場用地
	県・市関連配水管入替事業 (配水管入替工事) (実施設計委託料)	151,497 (140,787) (10,710)	県・市道路、下水道工事等関連配水管入替工事を実施した。 27件 30~300 L=2,001m 実施設計委託 一式
	配水管整備事業 (配水管入替工事) (実施設計委託料) (用地費)	30,006 (24,990) (4,976) (40)	配水管整備工事を実施した。 3件 50~75 L=114m 実施設計委託 一式 上大友地区増圧ポンプ場用地
	老朽管更新事業 (配水管入替工事) (実施設計委託料)	266,900 (259,970) (6,930)	年次計画による老朽管入替工事を実施した。 8件 30~400 L=3,425m 実施設計委託 一式
	消火栓設置事業	14,511	消火栓の設置 14基 防火水槽の設置 3基等
	送水管整備事業	123,386	紫雲寺地区へ送水管布設工事を実施した。
	浄水施設改良事業 (色度計設置工事) (ろ過池更新工事) (制御配管更新工事)	114,345 (6,615) (104,265) (3,465)	浄水施設の経年施設更新工事を実施した。 ろ過水色度計設置工事 一式 急速ろ過池 N03 工口更新工事 一式 急速ろ過池制御配管更新工事 一式

	配水施設改良事業 (配水設備更新工事) (配水ポンプ更新工事)	18,060 (15,750) (2,310)	配水施設の経年施設更新工事を実施した。 2号配水設備オーバーホール工事 一式 1号配水ポンプオーバーホール工事 一式
	水道施設監視システム構築事業	6,195	紫雲寺地区施設の監視システム実施設計委託一式
	庁舎施設改良事業	3,372	消雪用井戸洗浄工事等